



**認知症介護実践者研修募集要項
オンライン開催版
2022年度後期 新カリキュラム対応**



一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会

2022 年度後期 認知症介護実践研修について	1
目的.....	1
目標.....	1
日程.....	1
受講対象者.....	1
研修の内容.....	2
受講料.....	2
定員.....	2
使用テキスト.....	2
講師.....	2
スケジュール.....	2
オンライン受講の準備.....	3
受講申込から修了までの流れ.....	4
カリキュラム.....	5
スケジュール.....	6
修了認定について.....	8
修了証書の再発行について.....	8
受講者変更および受講辞退について	9
受講者の欠席・遅刻・早退について.....	9
その他の事情の場合.....	9
お問い合わせ先	9

2022 年度後期 認知症介護実践研修について

目的

この研修は、「認知症介護実践者等養成事業の実施について（平成 18 年 3 月 31 日、老発 0331010 号）」の一部改正について（令和 3 年 4 月 6 日、老発第 0406 第 5 号、厚生労働省老健局長通知）別紙「認知症介護実践者等育成事業実施要綱 4（2）に基づき、一般社団法人全国個室ユニット型施設協議会（以下、「本会」という。）が実施するものです。

高齢者介護実務者に対し、認知症高齢者の介護に関する実践的研修を実施することにより、認知症介護技術の向上を図り、認知症介護の専門職員を養成し、もって認知症高齢者に対する介護サービスの充実を図ることを目的とします。

目標

認知症の人の尊厳を尊重し、その権利を介護職の立場で擁護することができる。

認知症の原因疾患を理解したうえで、最善の介護方法を選択し実践することができる。

認知症の人の中核症状を理解し、行動・心理症状の軽減を図るうえでの介護を提供できる。

認知症の人の中核症状を理解し、本人の能力を生かした環境調整や介護技術を実践できる。

認知症の人の家族を支え、共に支援することができる。

認知症の人の社会資源を開発、活用したケアができる。

認知症に関する最新知識（薬、予防、制度、サービスの動向）を理解し、介護の場面で実践できる。

これらの実践事例を解決するためのアセスメント及びケアプランを作成し、実行、評価することができる。

日程

スケジュール（P.2）にてご確認ください

受講対象者

以下の要件を満たす者

- （1） 認知症介護基礎研修を修了した者あるいはそれと同等以上の能力を有する者
- （2） アセスメント・実践計画を検討する事例を準備できる者
- （3） 所在地が横浜市内にある介護保険施設、事業所等において、以下のいずれかのサービスの業務に従事しており、所属長から当該研修の受講について許可を受けた者
 - （ア）居宅サービス（イ）施設サービス（ウ）地域密着型サービス（エ）介護予防サービス（オ）地域密着型介護予防サービス（カ）居宅介護視線（キ）介護予防支援
- （4） インターネット接続環境（パソコン、ネット環境、受講者本人の接続スキル、Web カメラやマイク等の機器など）がある者

研修の内容

- | | |
|------------------|-----------------------|
| (1) 前期研修 | 2日間 |
| (2) 職場内で実践展開 | インターバル期間（自施設で課題に取り組む） |
| (3) 後期研修 | 2日間 |
| (4) 実習 | 4週間（自施設での職場実習） |
| (5) 実習報告会（オンライン） | 3時間 |

受講料

会員 27,500円 非会員 44,000円

定員

40名

使用テキスト

カリキュラムに基づいて講師が作成した資料を使用する。

※参考図書「認知症介護実践者研修標準テキスト」監修：認知症介護研究・研修センター

講師

本研修の講師は、認知症介護指導者が努めます。

スケジュール

	日程
募集期間	12月1日（木）～1月20日（金）
座学研修 （4日間） オンライン開催	前期（2日間）：2月7日（火）～8日（水） 後期（2日間）：2月21日（火）～22日（水）
職場実習 （約4週間）	2月24日（金）～3月23日（木）
実習報告会 （3時間） オンライン開催	3月28日（火）

オンライン受講の準備

講義および報告会はオンラインで実施いたします。

オンライン受講のために受講者一人あたり以下の機器類等を準備ください。

- ◇ ウェブカメラ付きのパソコンまたはタブレットの機器類
 - ※1台の機器で複数名の受講は不可とします。
- ◇ インターネット接続環境（有線を推奨）
- ◇ 会議室や休憩室など、研修に集中でき、また声を出しても周囲への迷惑にならない環境
 - ※研修ではグループワークを実施いたします。複数名の受講者がいる場合、同じ部屋で受講されますと、グループディスカッションの際に会話が聞き取りにくい状況となります。複数名で受講される場合は必ず別の部屋で受講するようお願いいたします。
- ◇ ヘッドセットまたはイヤホン（あれば望ましい）

受講申込から修了までの流れ

オンライン申込	本会のホームページ (https://suishinkyo.net) よりお申込ください。 ※オンライン申込が難しい場合は、事務局までお問い合わせください。 申込締め切り後、受講票と請求書をメールでお送りいたします。
受講料振込	受講料をお振込ください。
受講票の提出	受講者の顔写真を事務局までご提出ください。
座学受講	オンライン受講（職場やご自宅でご受講ください）
職場実習	自施設での実習
課題提出	実習報告会で報告する書類一式（原本）をご郵送ください。
実習報告会	オンライン報告会（職場やご自宅でご受講ください）
修了証書発送	修了証書を事務局から施設宛に発送いたします。

カリキュラム

		科目名	時間数	
前期	1 日目	1 認知症ケアの基本	(1) 認知症ケアの理念・倫理と意思決定支援	180 分
	2 日目		(2) 生活支援のためのケアの演習 1	240 分
			(3) QOL を高める活動と評価の観点	60 分
			(4) 家族介護者の理解と支援方法	90 分
			(5) 権利擁護の視点に基づく支援	90 分
			(6) 地域資源の理解とケアへの活用	120 分
	自施設・事業所で 2 (1)「学習成果の実践展開と共有」の課題に取り組む			
後期	3 日目	2 認知症の人への具体的支援のためのアセスメントとケアの実践	(1) 学習成果の実践展開と共有	60 分
	4 日目		(2) 生活支援のためのケアの演習 2 (行動・心理症状)	240 分
			(3) アセスメントとケアの実践の基本	120 分
	実習期間	3 実習	(1) 職場実習の課題設定	240 分
	報告会		(2) 職場実習 (アセスメントとケアの実践)	4 週間
			(3) 職場実習評価	180 分

講義は認知症介護指導者が担当します。

スケジュール

	研修科目名	時間	形式	目的・目標
座学 1日目	オンラインで受付	9:00～9:20		
	開講式	9:20～9:30		認知症介護実践者等養成事業及び実践者研修の目的を理解する。
	認知症ケアの基本的視点と理念 (180分+休憩10分)	9:30～12:40	講義	高齢者施策における認知症ケアの方向性と位置づけを理解し、個人の尊厳を重視する認知症ケアの理念の構築を促す。
	昼休み(50分)	12:40～13:30		
	生活支援のためケア演習1 (120分)	13:30～15:30	講義 演習	認知症ケアの倫理や理念の原則を理解し、日常的なケアの場面での倫理的課題と本人や家族の意思決定や意思表示の判断根拠を踏まえ、支援のあり方について理解を深める。
	休憩(10分)	15:30～15:40		
	生活支援のためケア演習1 (120分+休憩10分)	15:40～17:50	講義 演習	加齢に伴う心身の変化、疾病、認知症疾患、中核症状、心理的特徴を理解したうえで、行動・心理症状(BPSD)の発生源と実践場面での対応を理解し、認知症ケアの実践につなげる。
	1日のレビュー	17:50～18:00		研修取組みや自己の振り返り
座学 2日目	オンラインで受付	9:00～9:10		
	生活支援のためケア演習1 続き (60分)	9:10～10:10	講義 演習	在宅で介護する家族支援を実践するうえで、その家族の置かれている状況や介護負担の要因を理解し、必要な支援方法が展開できる。
	休憩(10分)	10:10～10:20		
	QOLを高める活動と評価の観点 (60分)	10:20～11:20	講義 演習	権利擁護の観点から認知症の人にとって適切なケアを理解し、自分自身の現状ケアを見直すとともに、身体拘束や高齢者虐待の防止の意義を深める。
	休憩(10分)	11:20～11:40		
	家族介護者の理解と支援方法 (90分)	11:40～13:10	講義 演習	住まいの様式、介護者のかかわり方など認知症の人を取り巻く生活環境の構築や改善のための評価方法や調整方法を修得する。
	お昼休み(40分)	13:10～13:50		
	権利擁護の視点に基づく支援 (90分)	13:50～15:20	講義 演習	関係職種、団体との連携による地域づくりやネットワークづくり等を通じて、既存の地域資源の活用や認知症の人の暮らしを支える資源開発の提案ができる。
	休憩(10分)	15:20～15:30		
	地域資源に理解とケアへの活用 (120分+休憩10分)	15:30～17:40	講義 演習	
1日のレビュー	17:40～17:50		研修取組みや自己の振り返り	
座学 3日目	オンラインで受付	9:00～9:10		
	学習成果の実践展開と共有 (60分)	9:10～10:10	講義 演習	認知症の人とのコミュニケーションの基本的知識を理解し、中核症状の特徴や進行に応じたコミュニケーション方法を身につける
	休憩(10分)	10:10～10:20		
	生活支援のためのケアの演習2 (120分)	10:20～12:20	講義 演習	非薬物的介入やアクティビティプログラムなどの支援の取り組みを認識しつつ認知症の人の心理的安定や生活の質の向上のための活動について理解を深める。
	昼休み(40分)	12:20～13:00		

	研修科目名	時間	形式	目的・目標
	生活支援のためのケアの演習2 (120分)	13:00～15:00	講義演習	食事・入浴などの基本的な生活場面において、中核症状の影響を理解したうえで、日常生活の安全、安心の向上、健康の維持増進を図りつつ、認知症の人の能力に応じた自立支援の実践ができる。
	休憩(10分)	15:00～15:10		
	アセスメントケアの実践の基本 (120分-休憩10分)	15:10～17:20		
	1日のレビュー	17:20～17:30		研修取組みや自己の振り返り
座学 4日目	オンラインで受付	9:00～9:10		
	生活支援のためのケアの演習2 (180分+休憩10分)	9:10～12:20		認知症の人の行動の背景を理解したうえで、認知症の行動・心理症状(BPSD)に対し、チームで生活の質が高められるような支援方法を修得する。
	昼休み(40分)	12:20～13:00		
	職場実習課題設定 (240分+休憩20分)	13:00～17:20	講義演習	認知症の人の身体要因、心理要因、認知症の中核症状の要因のアセスメントを行い具体的なニーズを把握することができるよう基本的視点を理解する。
	1日のレビュー	17:20～17:30		研修取組みや自己の振り返り
職場実習	自施設実習 (アセスメントとケアの実践)	4週間	実習	研修で学んだ内容を生かして、認知症の人や家族のニーズを明らかにするためのアセスメントができる。アセスメントの内容をもとに、認知症の人の生活支援に関する目標設定、ケアの実践に関する計画やケアの実践を展開できる。
実習 報告会	オンラインで受付	9:00～9:10		
	自施設実習評価 (180分+休憩20分)	9:10～12:30	演習	アセスメントやケアの実践に関する計画の実践結果を整理したうえで、客観的に評価、分析し今後の課題を明確にすることができる。

修了認定について

研修を修了した受講者には、本会より修了証書を交付します。

受講中、以下のような行為が見受けられる場合や研修指導者の注意に従わない場合には、受講取消、または修了を認めない場合があります。

- ①他の受講者、研修会場に迷惑をかける行為
- ②研修の円滑な実施を妨げるような行為
- ③研修態度が好ましくない場合

修了証書の再発行について

再発行の手続をされる場合には、事務局までご連絡ください。

再発行手数料として、3,000円請求させていただきます。

受講者変更および受講辞退について

事務局までご連絡ください。

受講者の欠席・遅刻・早退について

研修受講期間中に欠席・遅刻・早退があった場合は、研修を修了したと認められませんので修了証書の発行はいたしません。また、その際の受講料の返金はいたしません。

ただし、受講者の責に帰さない、やむを得ない事情であると本会が判定し、かつ、以下の手続がなされた場合はこの限りではありません。

その他の事情の場合

- ① 受講者は理由を証明する文書を本会にご提出ください。
- ② 未受講の講義について、本会の指定する、課題の実施・提出、研修の受講等を行ってください。

お問い合わせ先

一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会 事務局
〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-20-8 ベネックス S-3 4階
TEL : 045-577-4212 / FAX : 045-577-4213
Mail : info@suishinkyo.net URL : <https://suishinkyo.net>